



2024年3月期決算 決算説明資料

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 業績予想
3. トピックス

連結	2023/3期		2024/3期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	(百万円)	売上比(%)	(百万円)	売上比(%)		
売上高	88,000	100.0	88,609	100.0	609	0.7
売上総利益	22,463	25.5	22,331	25.2	△ 131	△ 0.6
営業利益	4,989	5.7	4,421	5.0	△ 568	△ 11.4
経常利益	12,900	14.7	12,007	13.6	△ 893	△ 6.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,853	12.3	9,857	11.1	△ 996	△ 9.2
設備投資額	4,068		2,535			
減価償却費	3,149		3,317			
研究開発費	1,825		2,058			

2024/3期のポイント

売上高 : **増収**

自動車業界向けは回復傾向、一方で半導体製造装置向けは低調

営業利益 : **減益**原材料価格高騰の価格転嫁は進んだものの、
半導体製造装置向けなどの高付加価値製品の売上低調などが影響経常利益 : **減益**

営業利益減少や為替差益の減少、訴訟関連費用発生が影響

売上高	2023/3期 (百万円)	2024/3期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
ベルト・ゴム	28,600	29,535	935	3.3
ホース・チューブ	33,251	31,697	△ 1,554	△ 4.7
化工品	11,597	11,822	225	1.9
その他産業用製品	10,449	11,475	1,025	9.8
その他	4,101	4,078	△ 23	△ 0.6
合計	88,000	88,609	609	0.7

営業利益	2023/3期 (百万円)	2024/3期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
ベルト・ゴム	3,122	3,438	315	10.1
ホース・チューブ	935	7	△ 927	△ 99.2
化工品	202	454	252	124.3
その他産業用製品	227	438	211	92.9
その他	2,067	1,830	△ 236	△ 11.5
全社/連結調整	△ 1,566	△ 1,749	△ 183	—
合計	4,989	4,421	△ 568	△ 11.4

売上高(Q4累計)

28,600 百万円
2023/3期

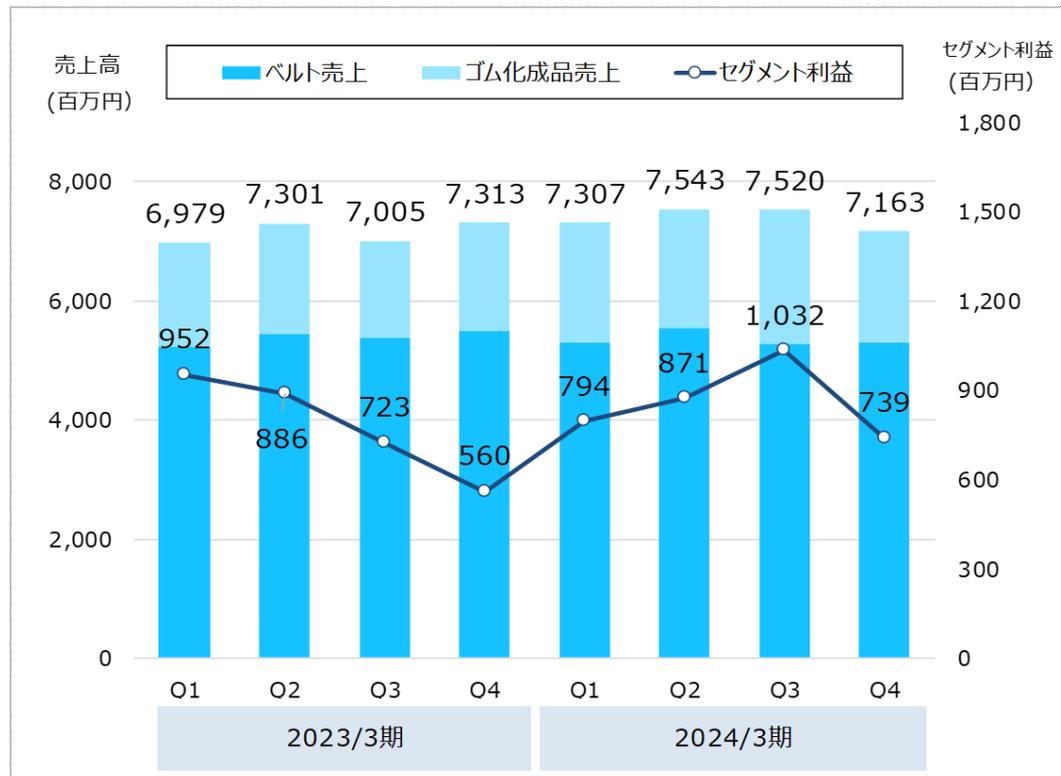
+3.3%

29,535 百万円
2024/3期

セグメント利益(Q4累計)

3,122 百万円
2023/3期

+10.1%

3,438 百万円
2024/3期

ベルト製品

- ・国内では物流業界向けが堅調
- ・海外では物流業界・繊維業界向けが低調

ゴム化成品

- ・電子部品業界向けが回復傾向
 - ・リネン業界向けRFID製品
- Q3まで特需により好調



ベルト製品

- ・物流業界
- ・繊維業界
- ・紙工印刷業界
- ・半導体業界 等



ゴム化成品

- ・土木・橋梁業界
- ・工作機械 等



ゴム化成品

- (デバイス)
- ・電子部品業界
 - ・リネン業界

売上高(Q4累計)

33,251 百万円

2023/3期

△4.7%

31,697 百万円

2024/3期

セグメント利益(Q4累計)

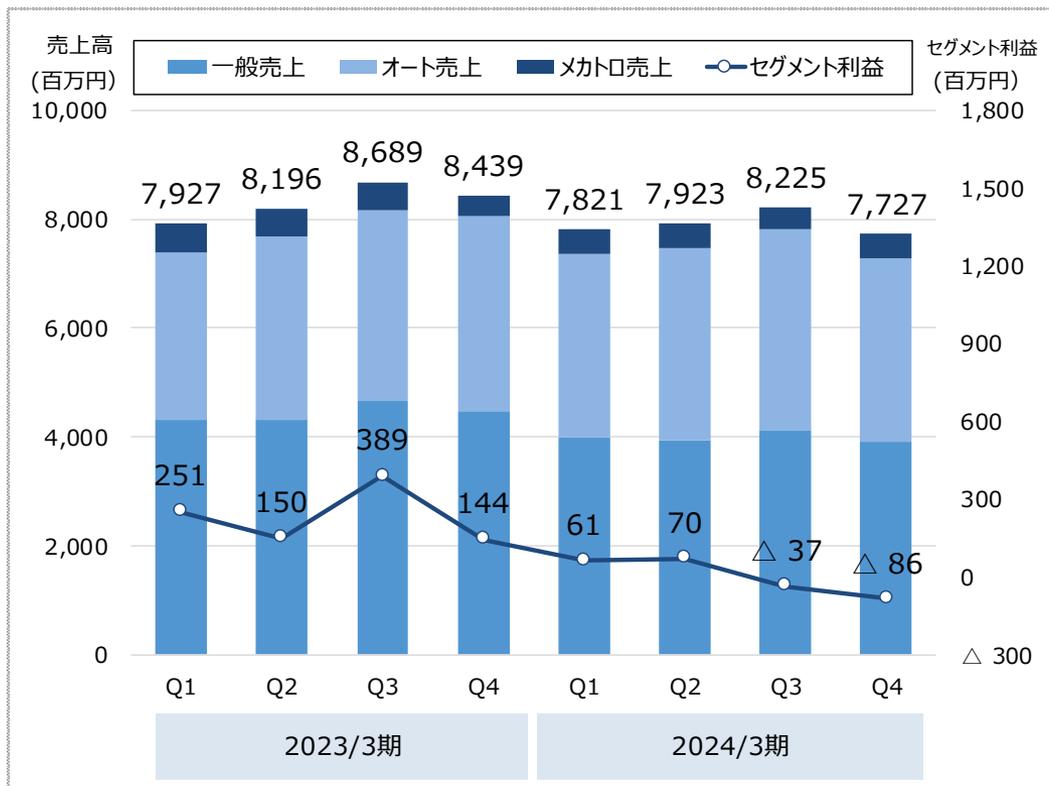
935 百万円

2023/3期

△99.2%

7 百万円

2024/3期



一般産業向け

- ・半導体製造装置向け低調
- ・中国の建設機械向け低調

オート向け

- ・半導体不足解消に伴い
- 中国を除き回復傾向

メカトロ製品

- ・中国の自動車製造ライン向け低調



**一般産業向け
ホース・チューブ**
・半導体製造装置
・建設機械
・工作機械 等



**オート向け
ホース・チューブ**
・自動車業界
・トラック・バス 等



メカトロ製品
・自動車業界

売上高(Q4累計)

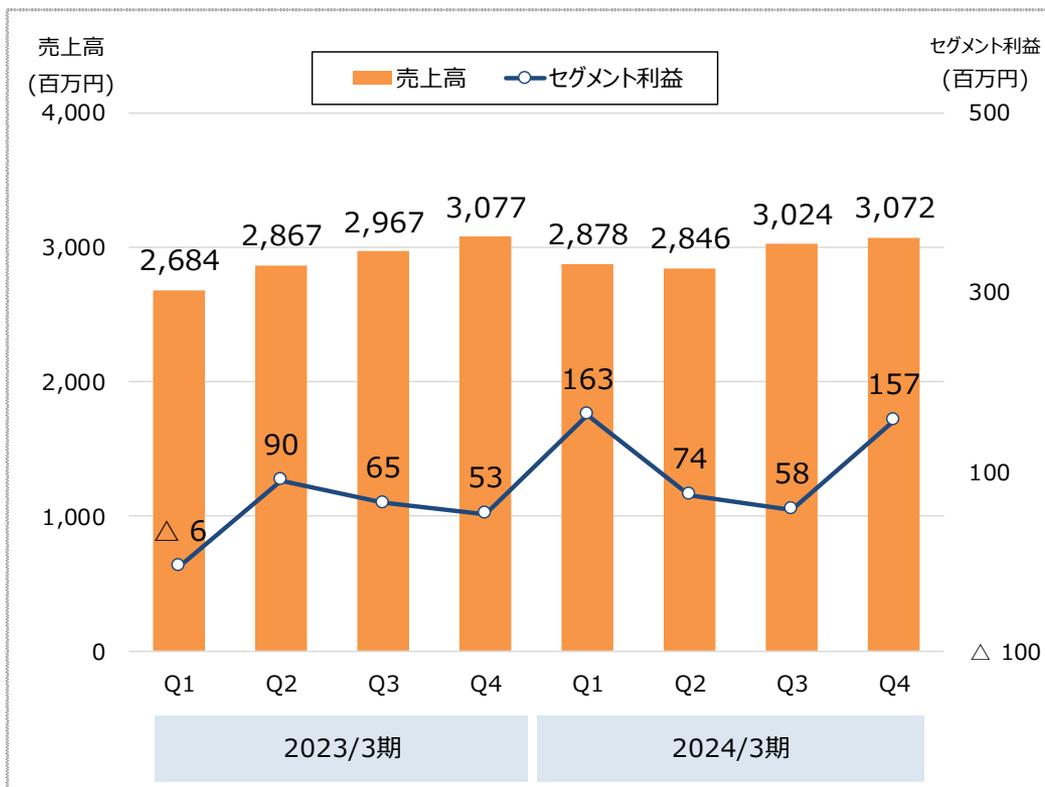
11,597 百万円 **+1.9%** **11,822** 百万円

2023/3期 2024/3期

セグメント利益(Q4累計)

202 百万円 **+124.3%** **454** 百万円

2023/3期 2024/3期



ゴム製品

- ・鉄道業界向けは国内堅調
- ・海外は受注が翌期にずれ込み

エラストマー製品

- ・OA機器向け回復傾向



ゴム製品
(鉄道部品等)
・鉄道業界 等



遮水製品
・土木業界
・建設業界 等



エラストマー製品
・OA機器向け



売上高(Q4累計)

10,449百万円 +9.8%

2023/3期

11,475百万円

2024/3期

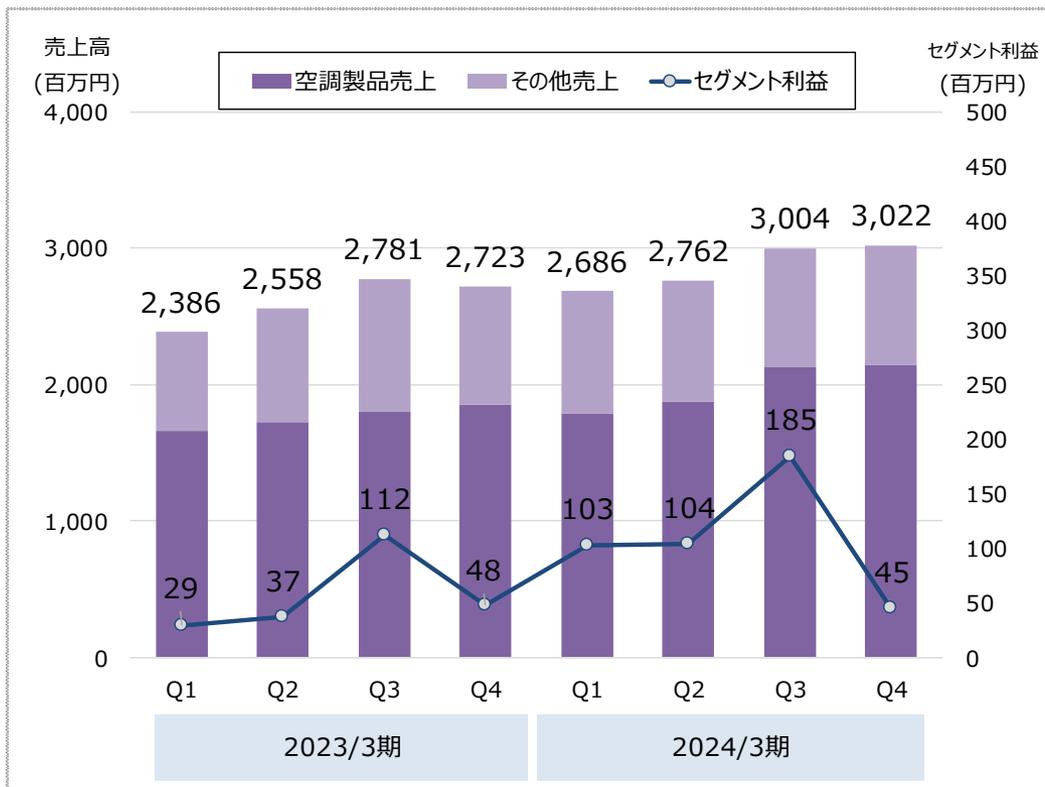
セグメント利益(Q4累計)

227百万円 +92.9%

2023/3期

438百万円

2024/3期



空調製品

- ・国内の半導体・電子部品・製薬業界向け
- フィルタ製品及び測定器が堅調



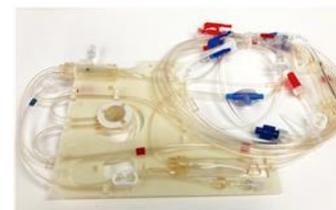
空調製品 (フィルタ製品)

- ・半導体業界
- ・製薬業界
- ・病院 等



空調製品 (測定器)

- ・半導体業界
- ・電子部品業界
- ・製薬業界 等



その他 (血液循環回路)

- ・医療向け

売上高(Q4累計)

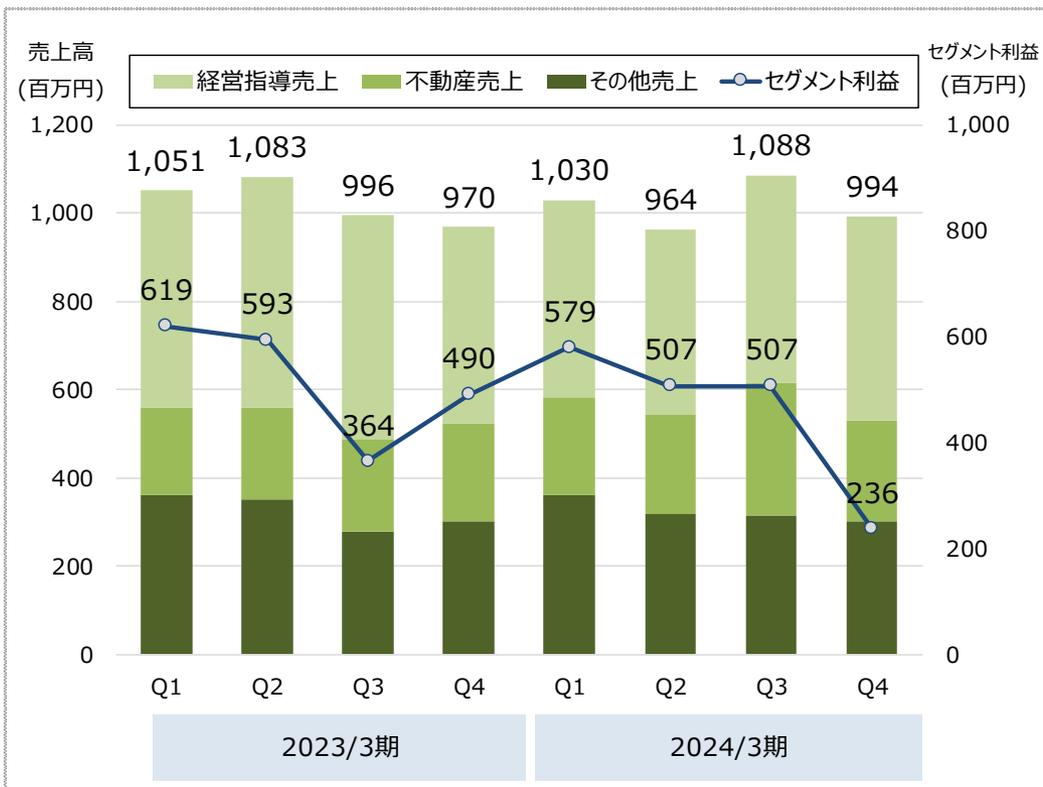
4,101百万円
2023/3期 $\Delta 0.6\%$

4,078百万円
2024/3期

セグメント利益(Q4累計)

2,067百万円
2023/3期 $\Delta 11.5\%$

1,830百万円
2024/3期



経営指導

・対象事業の業績低下により減収

不動産事業

・テナント賃料収入が回復するも
大規模修繕による費用が増加



不動産事業
・賃貸管理

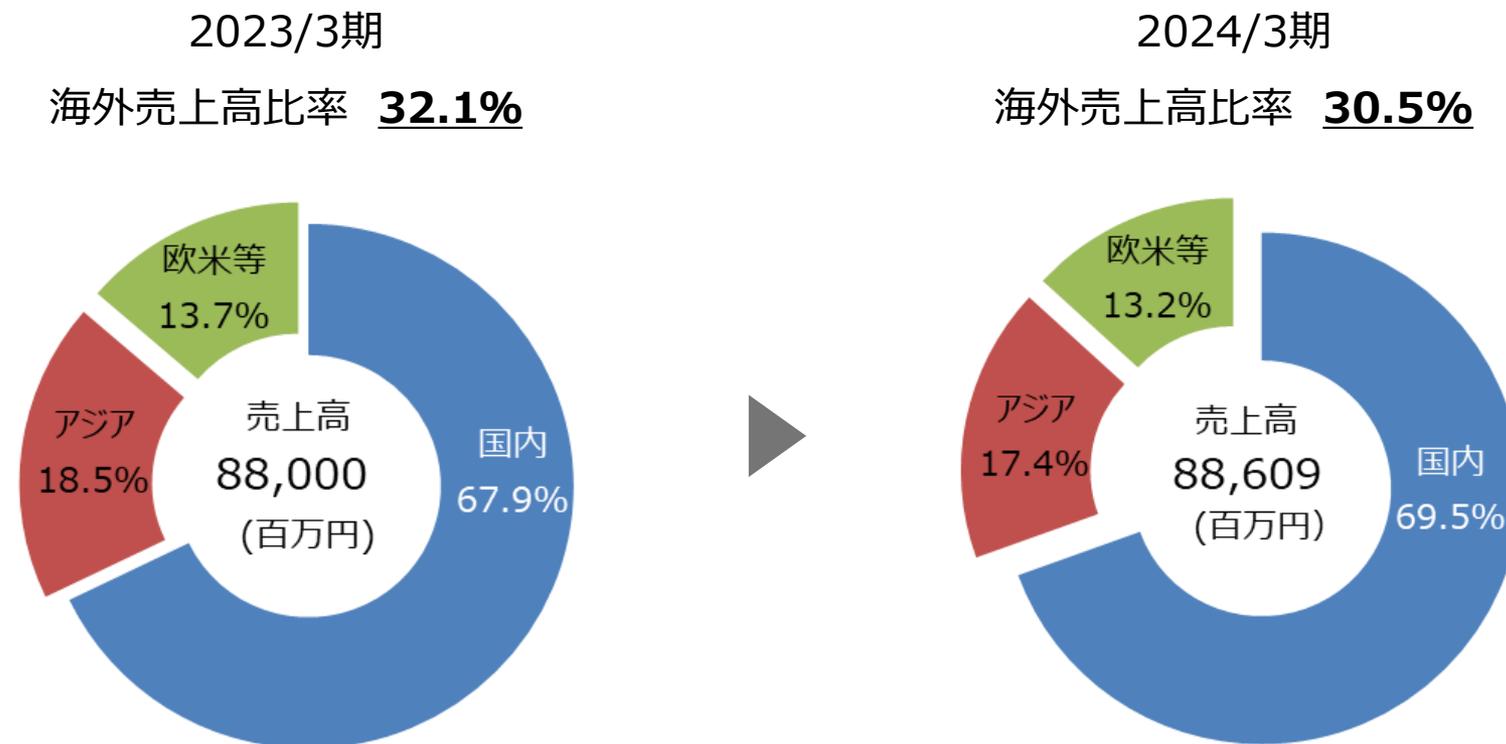


その他
(森林経営)

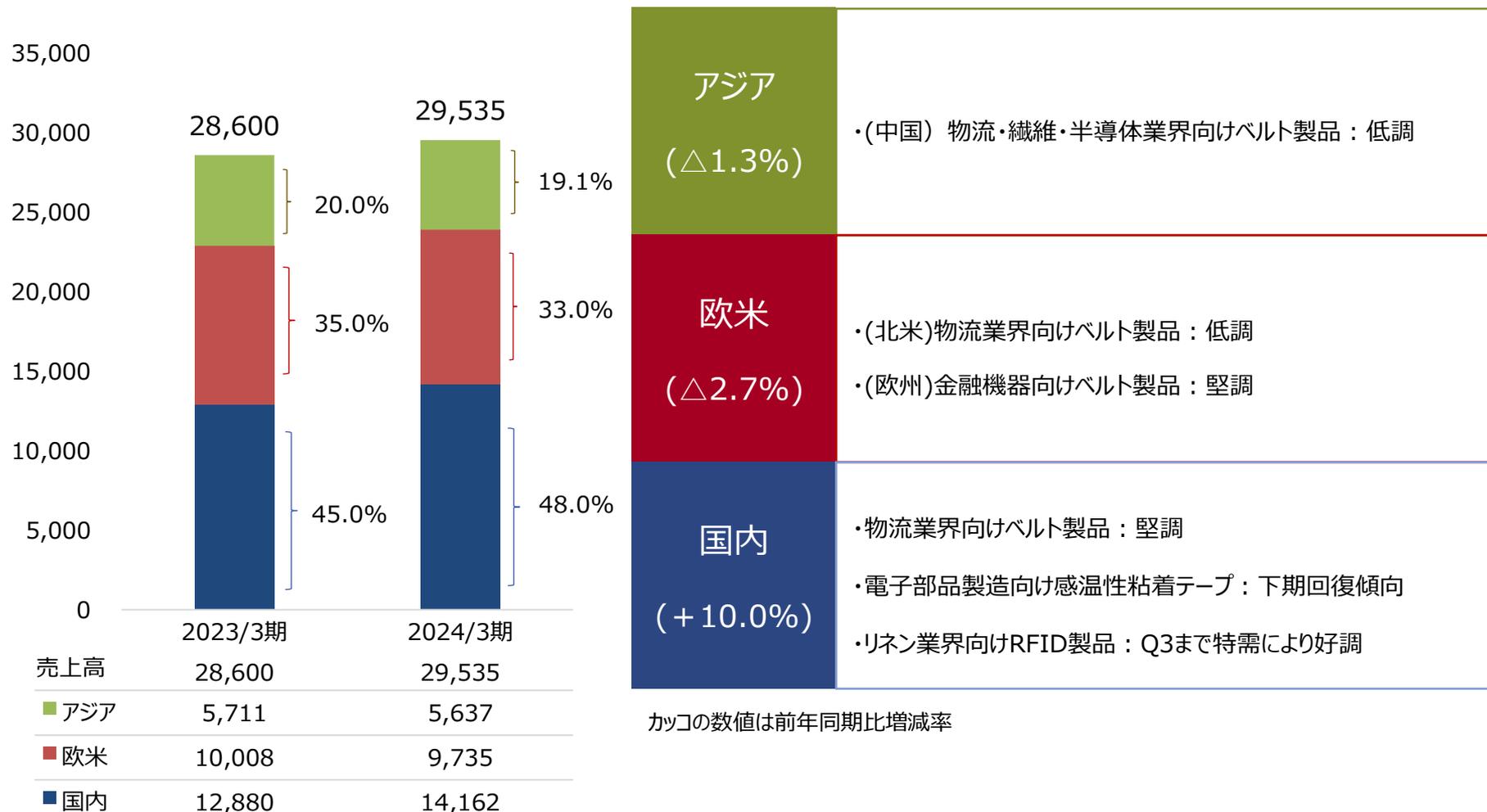


その他
(自動車教習事業)

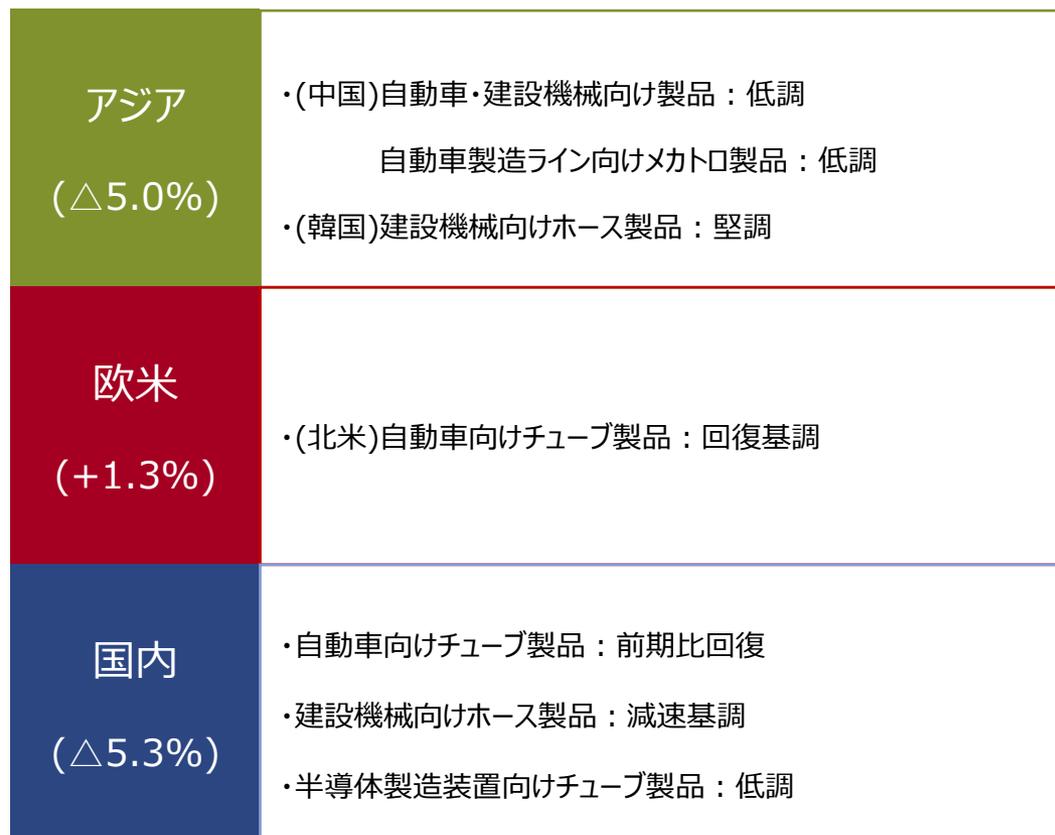
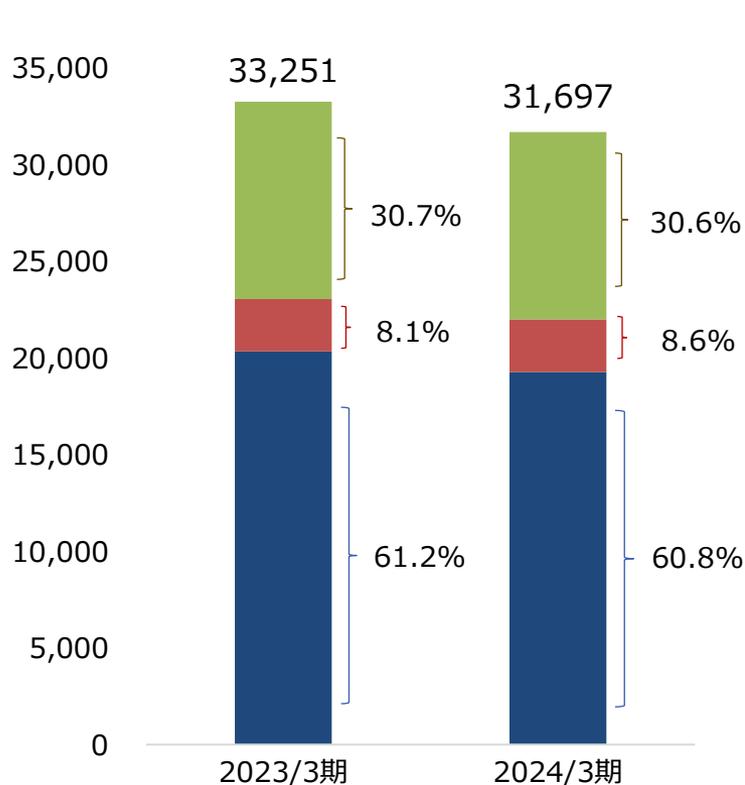
中国や北米向けが低調であった半面、国内が堅調に推移し海外売上高比率が低下



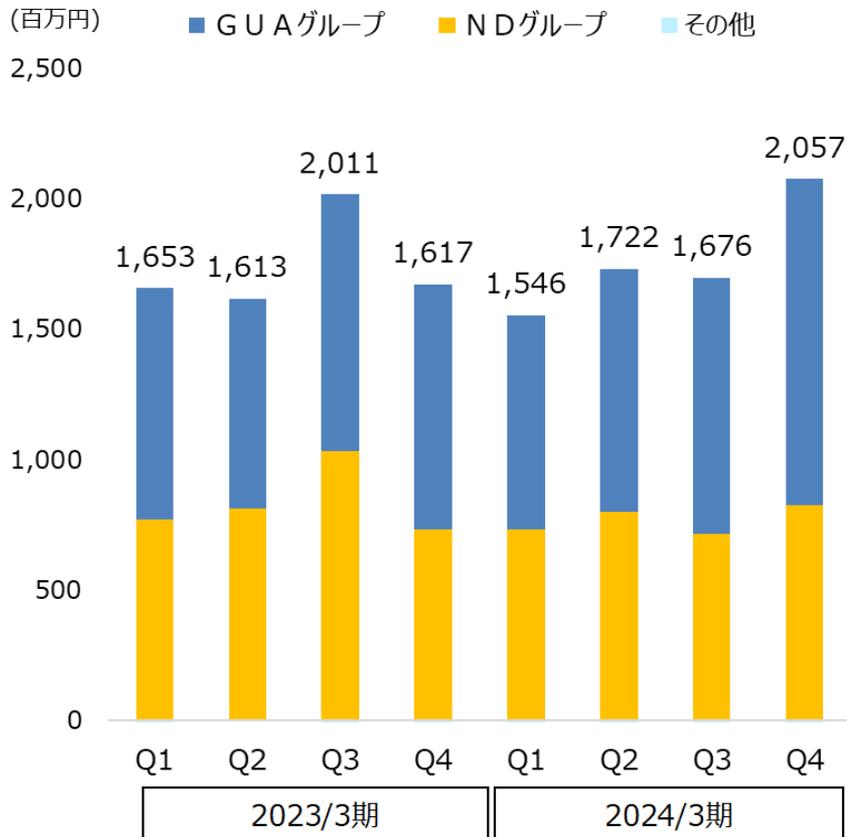
(百万円)



(百万円)



カッコの数値は前年同期比増減率



GUAグループ	887	803	983	940	821	930	983	1,250
NDグループ	770	813	1,033	731	733	801	714	825
その他	△ 5	△ 3	△ 6	△ 54	△ 8	△ 9	△ 21	△ 18
累計期間	1,653	3,266	5,277	6,894	1,546	3,268	4,944	7,001



GUAグループ

一般産業向けタイミングベルト、プーリ
（半導体製造装置、ロボット、工作機械等）
自動車向けタイミングベルト、テンショナー

- ・自動車業界向けは回復傾向
- ・一般産業向けは日本の半導体業界向け低調

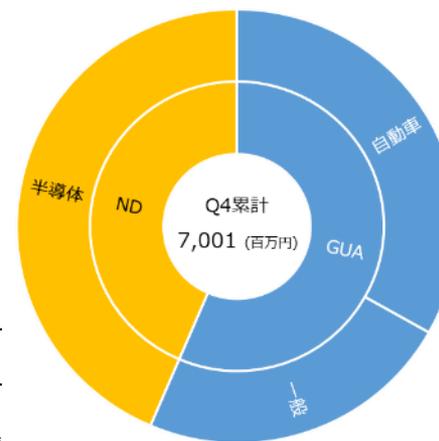


NDグループ

半導体業界向け研磨パッド、スラリー

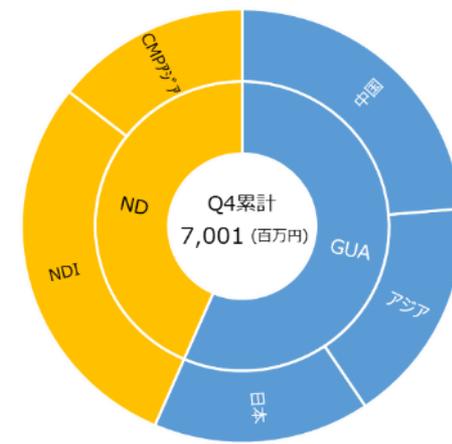
- ・Q4、メモリ減産の影響から回復傾向へ

業界別割合



※GUAの業界別割合は売上高をベースに持分法投資利益を分割しています。

地域別割合

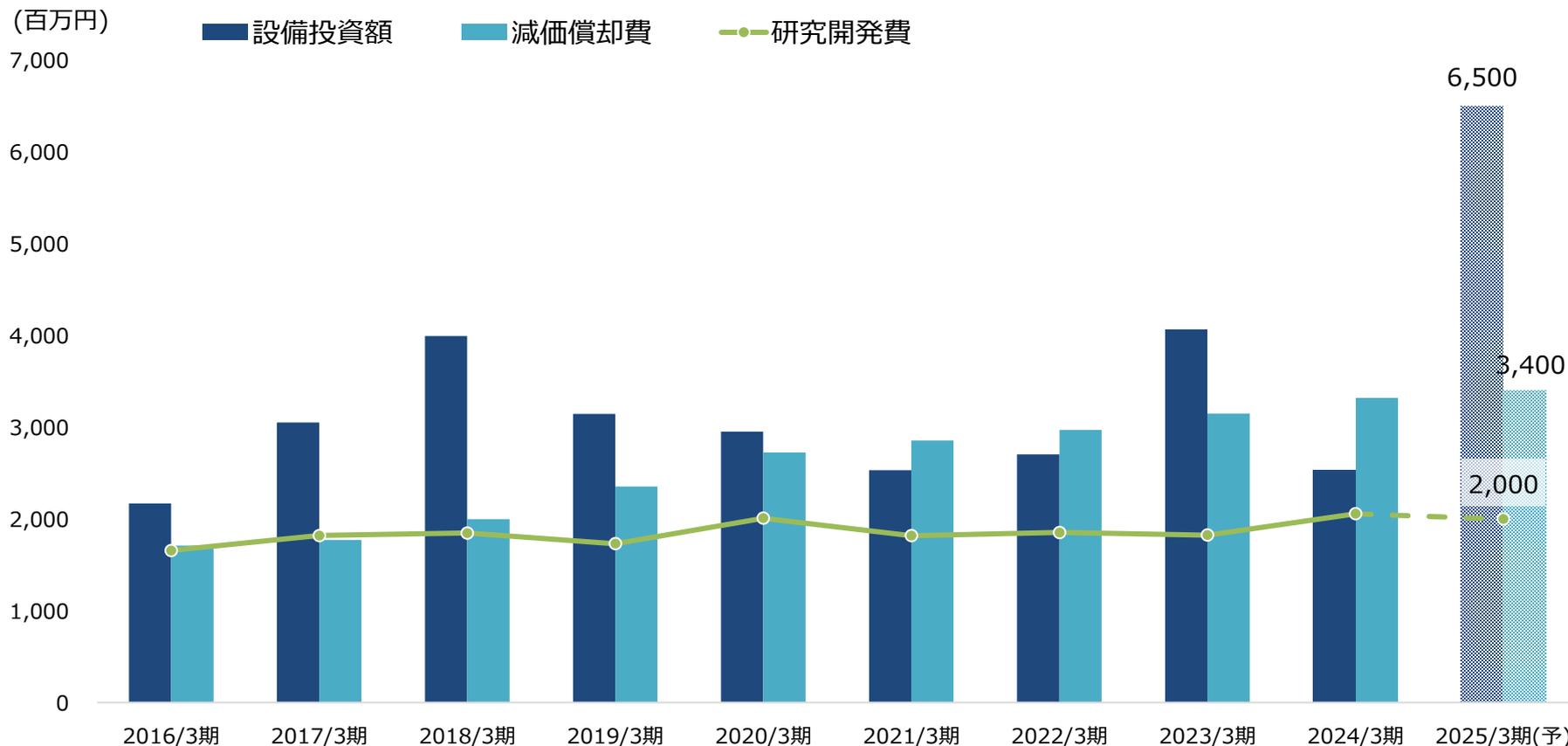


※地域別割合は持分法適用会社の所在国等により区分した持分法投資利益の割合を表しています。

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 業績予想
3. トピックス

連結	2024/3期実績(百万円)			2025/3期予想(百万円)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想		
売上高	43,765	44,843	88,609	44,000	46,000	90,000	1,391	1.6
営業利益	2,526	1,895	4,421	2,300	2,500	4,800	379	8.6
経常利益	6,221	5,786	12,007	5,900	6,100	12,000	△ 7	△ 0.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,015	4,841	9,857	4,900	5,100	10,000	143	1.4
設備投資額		2,535			6,500			
減価償却費		3,317			3,400			
研究開発費		2,058			2,000			

2025/3期は、タイ・韓国・インド等海外拠点の工場拡張、製造設備、持分法適用会社向け倉庫新設など、成長に向けた投資を予定。

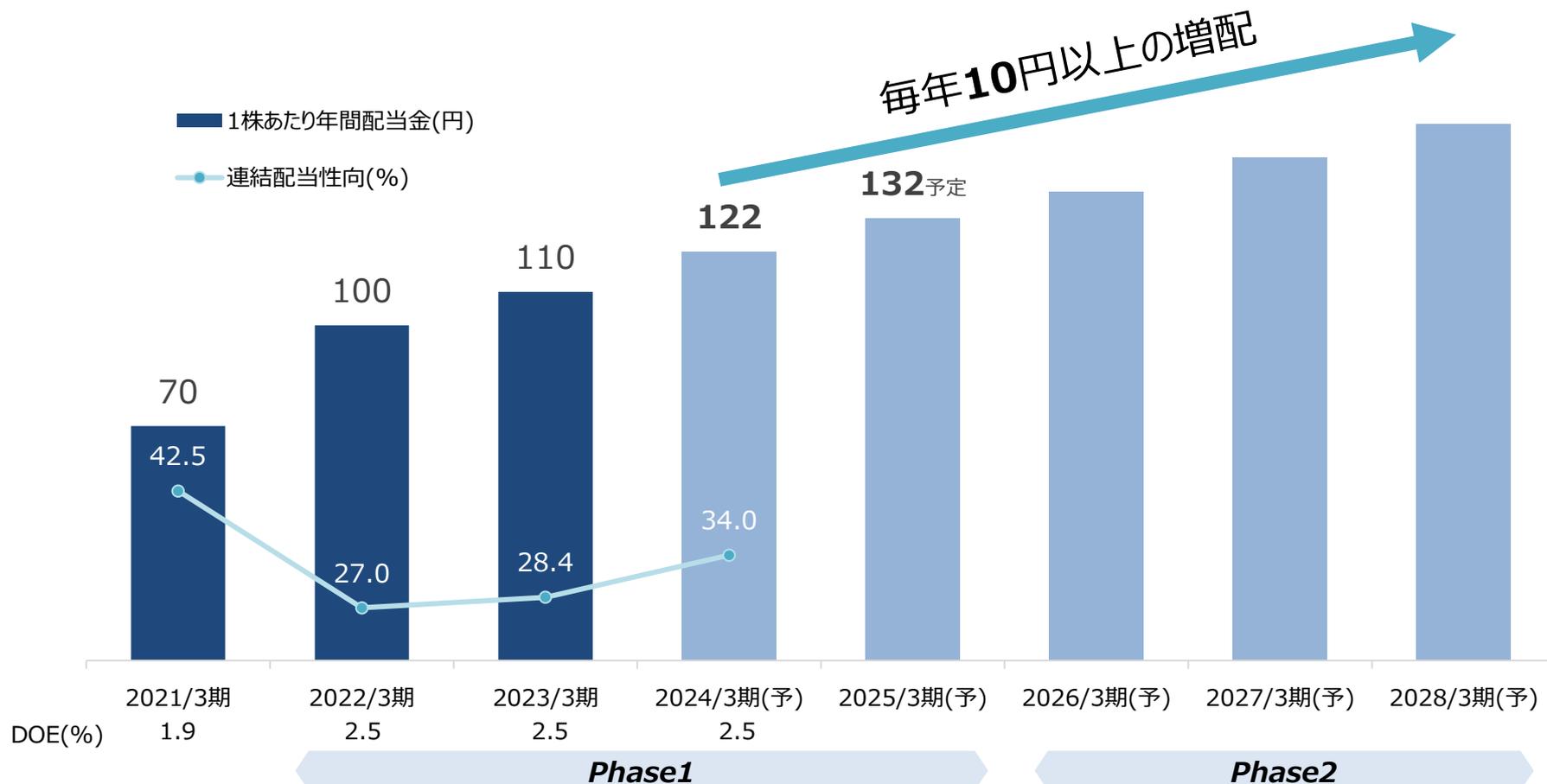


■ 株主還元方針(中長期経営計画「SHIFT2030」のPhase 2 終了までの期間 (2024/3期～2028/3期))

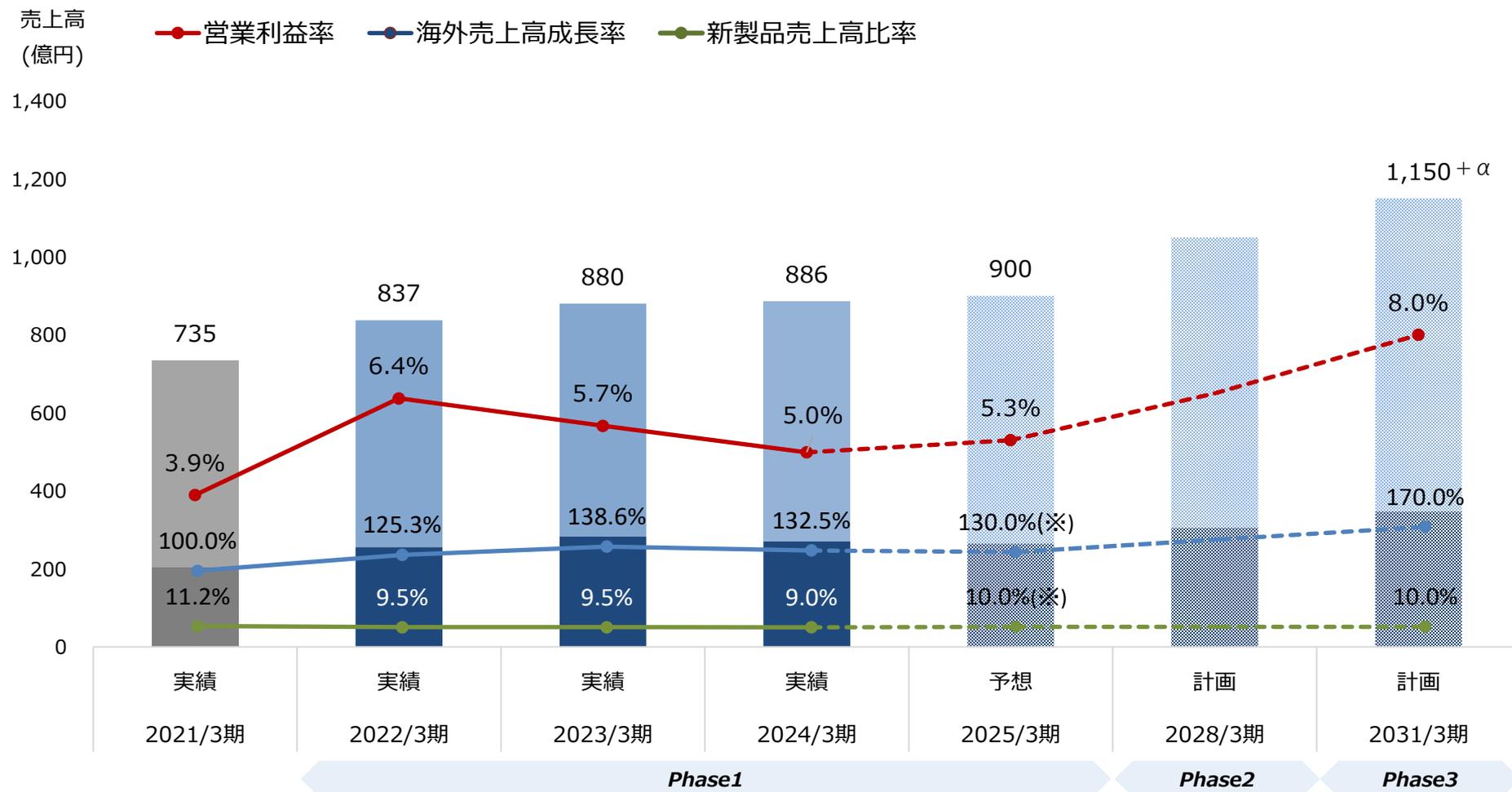
連結配当性向30%以上かつDOE (株主資本配当率) 2.5%以上を目安に、安定的かつ着実な増配 (毎年1株当たり10円以上の増配) を継続的に実施

■ 配当予想 2024/3期 年間配当金122円

2025/3期 年間配当金132円 (1株あたり10円増配。中間66円、期末66円)



Phase1最終年度である2025/3期の計画値を概ね達成。新製品売上高比率は未達。



(※)2025/3期の海外売上高成長率及び新製品売上高比率はSHIFT2030の計画値としています

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 業績予想
3. トピックス

①成長へのSHIFT

SHIFT for Growth

- ・既存事業の持続的成長
- ・新事業の探索
- ・新製品開発の加速

②企業価値向上へのSHIFT

SHIFT for Corporate Value Enhancement

- ・品質及びトータルコスト競争力の向上
- ・コーポレートガバナンス、コンプライアンスの強化
- ・ESG推進とSDGsのGoal達成

③更なるグローバル化へのSHIFT

SHIFT for Further Globalization

- ・各事業の更なるグローバル展開
- ・コーポレート部門によるグローバルサポート強化

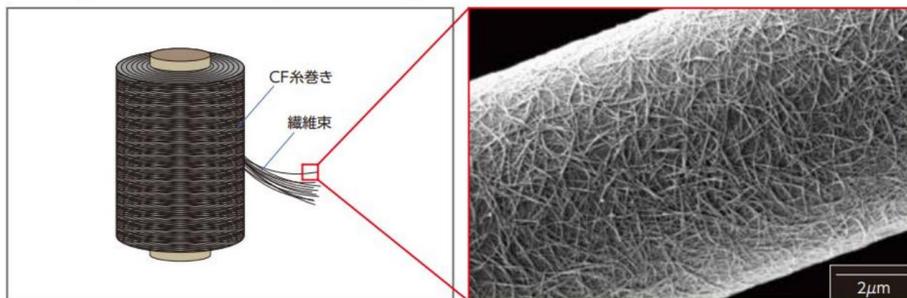
Namd™を用いた産業分野向けCFRP製品を開発

2017年度以来、当社独自技術であるNamd™はスポーツ分野においてCFRP製品に多数採用されてきました。Namd™事業の更なる拡大を目指し、産業分野用途への展開を図るため、2G-Namd™の特長を活かし、これまで実現困難であった軽量高強度かつ高信頼性のCFRP製品を開発しました。

Namd™とは

ナノ分散カーボンナノチューブを炭素繊維へ均一複合化する技術

ニッタは分散剤を使用せず「ナノ分散」を実現することでCNTの自己凝集力を応用し、独自複合化技術により炭素繊維表面への均一CNT膜を形成



産業分野用途への展開を図る為

「疲労耐久性」を活かした

軽量高強度且つ高信頼性のCFRP製品

2G-Namdは通常CFRPと比較し、

繰り返し引張荷重において

「疲労耐久回数」が1桁以上向上

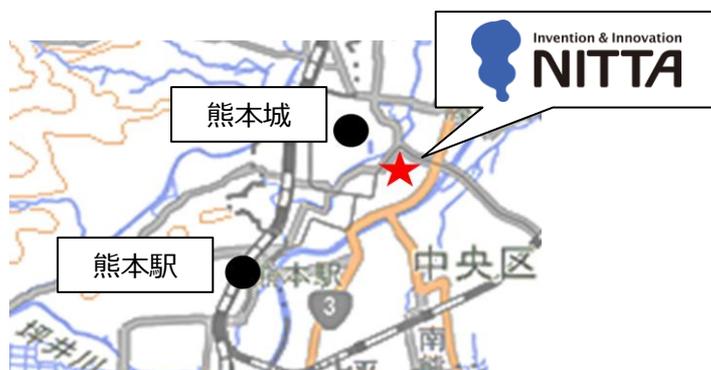
本製品を高信頼性が求められる航空・宇宙分野用途に展開するため、
2025年に航空宇宙品質マネジメント（AS9100）認証の取得を目指します。

半導体業界への更なる販売網の強化

半導体産業の一大集積地である熊本県に、当社ホース・チューブ製品事業が営業事務所を設置する予定です。また、持分法適用会社であるニッタ・デュポン株式会社も菊陽町に営業拠点を設置しました。

ニッタ株式会社 ホース・チューブ製品事業 熊本サテライト営業事務所

- 場所：熊本市中央区下通り(熊本城近く)
- 入居時期：2024年5月中旬



ニッタ・デュポン株式会社 熊本オフィス

- 場所：熊本県菊池郡菊陽町
- 顧客からの技術・品質問合せに対してスピード感をもって応えるべく、2024年3月期に設置



顧客の満足度向上に努め、半導体業界への更なる販売強化を図ります。

健康経営銘柄に2年連続選定

経済産業省と東京証券取引所が共同で、従業員の健康管理を、経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定する「健康経営銘柄」に本年3月当社が選定されました。

健康経営銘柄には毎年1業種につき原則1企業が選定されており、当社は2年連続選定となります。また、「健康経営優良法人(ホワイト500)」は、6年連続の選定となりました。



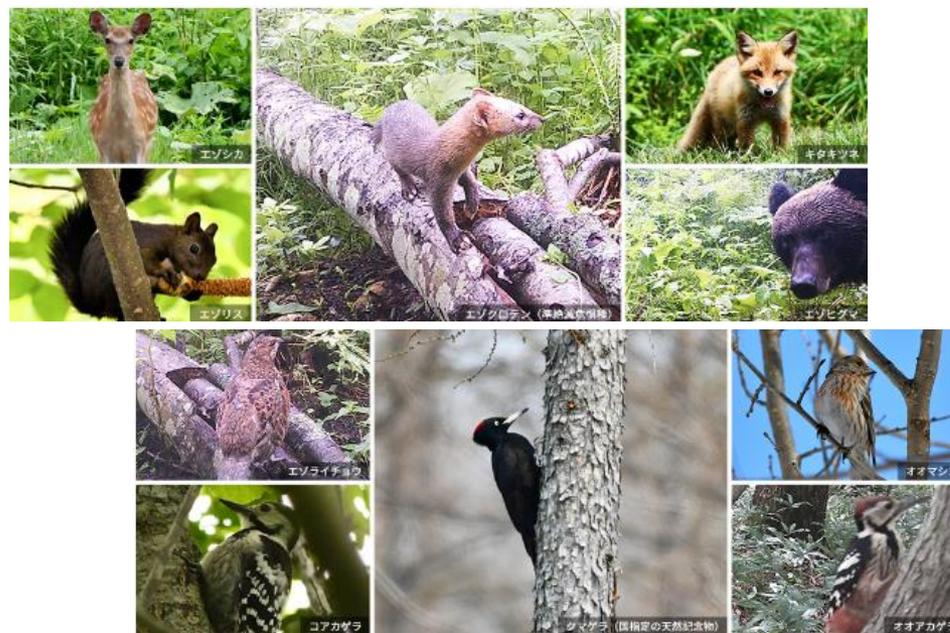
当社は健康経営の推進を通じて、従業員の健康増進・維持をはかり、従業員の活力向上や生産性向上に繋げていくことで、中長期的な業績拡大及び企業価値の向上を実現して参ります。

北海道の社有林「十弗の森」が環境省の「自然共生サイト」に認定

北海道中川郡豊頃町内に所在する社有林「十弗(とおふつ)の森」が、環境省より貴重な森林環境が維持できていると評価され、「自然共生サイト」の認定を受けました。



ニッタ株式会社「十弗の森」



当社社有林内で確認された貴重種を含めた確認種(一部)

これからも社有林の適切な整備・管理による生物多様性保全、持続可能な森林経営に取り組んでまいります。



THANK YOU

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<IR問合せ先：経営管理グループ 06-6563-1217>